

世代別・職業別タウンミーティングでいただいた意見と市の対応

『テーマ：学生の視点で松山市を考える』 平成 28 年 1 月 15 日（金） 12：50～

☆	意見の内容	対応可能性と 対応時期	対応策または 不可能な理由等	担当課
1	<p>松山市で、ほかの市町村にはない特色ある施策など子育てなどの関連で行っていることがあれば教えてほしい。</p>	<p>■可能  <input checked="" type="checkbox"/> 対応済  <input type="checkbox"/> 今年度中  <input type="checkbox"/> 次年度以降  <input type="checkbox"/> 検討中  <input type="checkbox"/> 不可能  <input type="checkbox"/> その他</p>	<p>松山市では、子どもの豊かな感性を育てるとともに、コミュニケーション能力や運動能力の向上などを目的に、公立の幼稚園や保育所の園庭、小中学校の校庭で芝生化を進めており、これまで幼稚園 5 園、保育所 8 園、小学校 2 校、中学校 1 校で実施しました。</p> <p>保護者や地域の方が協力して芝生を育てることで、地域で子どもたちを見守るという意識の育成や、ケガの心配がないことで屋外で活発に遊ぶ機会が増えたこと、また、照り返しの緩和で熱中症の予防が図れるなどの効果があります。</p> <p>小児救急医療では、各医療機関が連携して 365 日 24 時間体制のもと、子どもの症状に応じて役割を分担し、重症の場合は、小児救急支援病院や救命救急センターへ搬送される体制が整備されています。また、松山市急患医療センターの小児科では、市内はもちろん周辺市町の開業医や勤務医など多くの小児科医の協力によって、1 月 1 日を除く毎日、夜 9 時から翌朝 8 時まで急病者の診療を行っています。</p> <p>第 3 子以降の児童が通う保育所等の保育料については、世帯の所得に応じて全額または半額の補助を行っています。</p>	<p>保育・幼稚園課 横山 憲 089-948-6859</p> <p>学習施設課 宇都宮 和史 089-948-6831</p> <p>医事薬事課 奥村 高史 089-911-1804</p>

2	<p>聖カタリナ大学の門を右に出たところの狭い路地から、駅までの道に街灯がなく、夜がものすごく怖いという意見があるので、街灯があればいいのではないか。</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>可能  <input type="checkbox"/>対応済  <input checked="" type="checkbox"/>今年度中  <input type="checkbox"/>次年度以降  <input type="checkbox"/>検討中  <input type="checkbox"/>不可能  <input type="checkbox"/>その他</p>	<p>防犯灯は、町内会等が設置し、電気料金の支払など維持管理をしています。地域の方が、生活道路が暗いので改善を希望される場合、松山市では、松山市防犯協会を通じて、防犯灯の設置や修理の費用を助成しています。</p> <p>タウンミーティング後、現地を調査した結果、照度が落ちている防犯灯がありましたので、地域の方と協議を行い、照度の高いLED防犯灯に交換します。</p>	<p>市民参画まちづくり課          村本 実紀          089-948-6736</p>
3	<p>狭い道路のわりには、意外と車の通りが多くスピードを下げずに通る車が多い。</p>	<p><input type="checkbox"/>可能  <input type="checkbox"/>対応済  <input type="checkbox"/>今年度中  <input type="checkbox"/>次年度以降  <input type="checkbox"/>検討中  <input type="checkbox"/>不可能  <input checked="" type="checkbox"/>その他</p>	<p>今回のご意見を受けて管轄の松山西警察署に、聖カタリナ大学正門前の東西の道路を通行する車両のスピードについてお伝えしました。</p> <p>現在、この道路は速度規制が30kmとなっており、交通規制の遵守は車のドライバーの資質によるところもありますが、今後、松山西警察署とも連携して、ドライバーに注意喚起していきます。</p>	<p>都市・交通計画課          中津 優          089-948-6445</p>
4	<p>留学生が、海外にあまり知られていない松山の名物をネットやSNSを活用して広げたらいいと思う。</p>	<p><input type="checkbox"/>可能  <input type="checkbox"/>対応済  <input type="checkbox"/>今年度中  <input type="checkbox"/>次年度以降  <input type="checkbox"/>検討中  <input type="checkbox"/>不可能  <input checked="" type="checkbox"/>その他</p>	<p>留学生の皆さんには、是非故郷のご家族や友人に松山の魅力を写真やメッセージを通して、情報発信していただきたいと思います。</p> <p>松山市では、平成27年度に、英語・韓国語・中国語（簡体字・繁体字）の観光WEBサイトを開設しましたので是非ご活用いただき、困ったことがある場合は、観光・国際交流課までご相談ください。</p>	<p>観光・国際交流課          仙波 雄三          089-948-6887</p>
5	<p>松山の広い道路の横断歩道の中で、時間が短くて、渡りきれないお年寄りをよく見かけるので、信号の時間を長くできないか。</p>	<p><input type="checkbox"/>可能  <input type="checkbox"/>対応済  <input type="checkbox"/>今年度中  <input type="checkbox"/>次年度以降  <input type="checkbox"/>検討中  <input type="checkbox"/>不可能</p>	<p>松山東警察署に、横断歩道の青信号の点灯時間について確認したところ、</p> <p>「横断歩道の青信号が点滅、赤信号に変わるまでの時間は、青信号の点灯開始から横断を始めることを前提に、その距離と道路事情に応じた設定となっており、特に短く設定しているところはありません。横断歩道の距</p>	<p>都市・交通計画課          中津 優          089-948-6445</p>

		<p>■その他</p>	<p>離が長い場合は、点滅開始を早く感じるかもしれませんが、点滅後でも十分渡り終える時間を設定しています。青信号が点滅し始めたら、無理な横断は控え引き返して、次の青信号で横断するようにしてください。また、信号機は付近の信号機と連動していることが多く、時間の調整は簡単ではありませんが、交通量などから総合的に判断して時間調整が可能な場合もあります。」</p> <p>との回答をいただきましたので、気になる信号機がありましたら、都市・交通計画課までご相談ください。</p>	
6	<p>将来、保育士または幼稚園教諭を目指しているが、仕事が大変なのに給料が安いことを残念に思っている子が多いので、何か対策を考えてほしい。</p>	<p>■可能</p> <p>■対応済</p> <p><input type="checkbox"/>今年度中</p> <p><input type="checkbox"/>次年度以降</p> <p><input type="checkbox"/>検討中</p> <p><input type="checkbox"/>不可能</p> <p><input type="checkbox"/>その他</p>	<p>平成27年4月にスタートした子ども・子育て支援新制度では、子育て支援の充実を図るため、保育の場を増やすとともに質の向上を進めることにしており、施設に給付する人件費の改善もその一つです。</p> <p>松山市独自の策としては、国からの補助に上乗せして、認可施設が保育士を多く配置した場合の補助や、認可外施設に対して運営費の補助を行うなど、保育士の処遇改善に繋がる施策を実施しています。今後も国の動向を見極めながら有効な施策を実施していきたいと考えています。</p>	<p>保育・幼稚園課 横山 憲 089-948-6859</p>
7	<p>最近、食物アレルギーの子が本当に多いので、その原因追究と市で行っている対策があれば教えてほしい。</p>	<p>■可能</p> <p>■対応済</p> <p><input type="checkbox"/>今年度中</p> <p><input type="checkbox"/>次年度以降</p> <p><input type="checkbox"/>検討中</p> <p><input type="checkbox"/>不可能</p> <p><input type="checkbox"/>その他</p>	<p>平成27年度、松山市保健所では、市民を対象に「子どもの食物アレルギー講座」や日本アレルギー学会の専門医による講演会を実施しました。市のホームページには、「食物アレルギーのための食事ガイド」や食物アレルギー（卵・牛乳・小麦）に対応したレシピを掲載し、安心して楽しい食事ができるよう支援も行っています。</p> <p>【松山市ホームページ】 <a href="http://www.city.matsuyama.ehime.jp/kurashi">http://www.city.matsuyama.ehime.jp/kurashi</a></p>	<p>健康づくり推進課 野本 和美 089-911-1859</p>

			<p><a href="/iryo/eiyo/eiyousiryuu.html">/iryo/eiyo/eiyousiryuu.html</a></p> <p>認可保育所・認定こども園・認可外保育施設等では、アレルギーがある子どものために、厚生労働省のガイドラインに基づき、医師による連絡票や診断書を保護者から提出いただき、子どもの給食を除去食や代替食にしています。</p> <p>市内の小中学校では、「学校給食食物アレルギー対策委員会」の中で、医師の助言等をいただきながら、学校給食での食物アレルギーへの対応について協議しています。学校給食での具体的な対策としては、アレルギー症状がある子どもに対してアレルギー食品表示献立表の配付や、主治医の診断書をもとに各調理場で除去食等の対応をとるなど、学校給食の安全を最優先にしています。</p> <p>食物アレルギーなどの原因追及については、厚生労働省が食物アレルギー実態調査及び誘発物質の解明に関する研究を行っています。</p>	<p>保育・幼稚園課 門田 寛子 089-948-6872</p> <p>保健体育課 二宮 誠二 089-948-6812</p>
8	<p>国や市では、虐待の発見をどのように行っているのかを教えてください。</p>	<p>■可能</p> <p>■対応済</p> <p>□今年度中</p> <p>□次年度以降</p> <p>□検討中</p> <p>□不可能</p> <p>□その他</p>	<p>松山市では、児童相談所や市町村の窓口へいち早く相談や連絡をしていただけるよう、虐待防止意識の向上などの啓発活動に力を入れており、「松山市子ども総合相談 (Tel089-943-3200)」を青少年センター内に設置しています。</p> <p>子ども本人、家族、近隣住民、保育園、学校、医療機関などからの電話や、窓口へ直接来られての相談・通報が入った場合、情報収集を行い子どもの安全を確認した後、個々の実情に応じた対応方針を検討しながら訪問等、継続支援にあたります。緊急性のある場合や相談内容によっては、愛媛県福祉総合支援センター（旧：愛媛</p>	<p>子ども総合相談センター事務所 寺尾 典子 089-943-3215</p>

			<p>県中央児童相談所)・警察等と連携し、対応します。</p> <p>また、「家庭訪問・乳幼児健診・赤ちゃん相談」など、様々な母子保健事業を通して、保護者の相談に応じるなど適切な支援を行うとともに、家庭の様子や養育状況を把握するよう努めています。</p>	<p>健康づくり推進課 河合 ゆみ 089-911-1814</p>
9	<p>南海トラフ地震も来ると言われているので、松山市では、どのような防災や災害支援をしているのか教えてほしい。</p>	<p><input type="checkbox"/>可能</p> <p><input type="checkbox"/>対応済</p> <p><input type="checkbox"/>今年度中</p> <p><input type="checkbox"/>次年度以降</p> <p><input type="checkbox"/>検討中</p> <p><input type="checkbox"/>不可能</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>その他</p>	<p>松山市では、大学生が在学中に防災の知識と実践力を養い、就職後も地域の中で即戦力の防災リーダーとして活躍できる人材の育成を進めています。平成27年度から、愛媛大学の「環境防災学」(2単位)では、受講した大学生が防災士の資格を取得しており、平成28年度からは、市内の他の大学の学生も講義を受講できる環境を整備し、防災士の資格取得の機会を提供します。</p> <p>また、本市が全国に先駆けて採用した機能別消防団員制度では、大学生が「大学生防災サポーター」として消防団活動をしています。大学生防災サポーターの任務は、現場での消火活動等ではなく、地震・風水害等の大規模災害時、避難所の運営活動支援や消防広報活動、救急指導などとなっています。</p> <p>その他の取組として、「南海トラフ巨大地震」の被害想定等、最新の防災情報を反映した「改訂版まつやま防災マップ」を、平成27年3月に全戸配布し、現在は各支所などで配布しているほか、市ホームページにも掲載しています。防災マップには、災害ごとの特徴や避難のポイントのほか、各地区の避難場所や危険箇所など、災害から身を守るために必要な情報を掲載していますので、適切な避難場所や避難経路等をご確認いただくとともに、日頃からご家族や地域の皆さんと災害時の行動な</p>	<p>地域防災課 芝 大輔 089-926-9218</p> <p>地域防災課 藤井 通人 089-926-9229</p> <p>危機管理課 伊達 真 089-948-6815</p>

			<p>どについて話し合うなど、災害に備えてください。</p> <p>なお、本市では、南海トラフ巨大地震等に備え、現在約7万5千食の食料をはじめ、飲料水や毛布、日用品セットや簡易トイレなどを、おもに市内5か所の防災備蓄倉庫などに公的備蓄として保管し、災害時には必要な物資等を迅速に避難所へ搬送することにしています。しかし、災害時には、道路の寸断やライフラインの途絶により、必要な物資をすぐに届けられないことも考えられますので、日頃から各家庭でも、1週間分程度の食料や飲料水のほか、家族構成に応じて必要な備蓄をお願いします。</p>	
10	<p>夜遅くにバスを使うことが多いので、もう1本だけ夜遅い便が増えたらいいと思う。</p>	<input type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> 今年度中 <input type="checkbox"/> 次年度以降 <input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 不可能 <input checked="" type="checkbox"/> その他	<p>路線バスの増便について、伊予鉄道株式会社に確認したところ、</p> <p>「電車・バスの公共交通を利用される方は年々減少しており、今後も少子高齢化がさらに進展することを考えると、さらに利用者は減少すると考えられます。現在も、電車・バスの運輸事業では赤字を抱えており、経営は厳しい状況です。安全に対する投資やサービス水準を維持したままでの増便については、相応の利用者の増加が見込まれない限り困難です。」との回答をいただきました。</p> <p>しかし、学生だけでなく多くの市民の方の利用が見込まれる路線については、松山市も協力して、伊予鉄道株式会社に要望したいと考えていますので、都市・交通計画課までご相談ください。</p>	<p>都市・交通計画課 松田 博 089-948-6846</p>
11	<p>高齢者が車を運転できないというようになったら、普段の日常の買い物が困難になるので、タクシ</p>	<input type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> 今年度中	<p>独居高齢者等を対象に日常生活支援・指導事業や配食サービス事業等を実施しています。買い物支援については、民間企業がインターネットによる注文を受け自宅へ</p>	<p>高齢福祉課 渡部 通子 089-948-6408</p>

	<p>一やバスではない交通手段が何かあればいいと思う。</p>	<input type="checkbox"/> 次年度以降 <input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 不可能 <input checked="" type="checkbox"/> その他	<p>配送するサービスや、マイクロバスによる店舗への送迎を実施しています。</p> <p>民間と市の連携については、民生児童委員や地域包括支援センター、松山市社会福祉協議会等とも連携・協力して、民間サービスも含めた情報の提供を行うなど、有効な支援策を検討していきたいと考えています。</p> <p>高齢者の移動手段の確保は重要であり、公共交通の果たす役割は大きいと考えています。地域の実情に応じた移動手段を確保・継続していくために、意見交換会等を行うなど地域の方と一緒に考えていきたいと思しますので、都市・交通計画課までご相談ください。</p>	<p>都市・交通計画課 松田 博 089-948-6846</p>
12	<p>外国人は、防災や地震を心配しているの、地震を体験できる場所があると留学生や外国人観光客にいいと思う。</p>	<input checked="" type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> 今年度中 <input type="checkbox"/> 次年度以降 <input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 不可能 <input type="checkbox"/> その他	<p>消防局では、留学生や県内企業での技能実習生などを支援している国際交流事業組合や国際交流協会等の各団体と協力して、防災センターで防火・防災講習をはじめ消火や煙避難体験、地震体験車の試乗なども実施しています。</p> <p>また、防災センターは、個人の見学や体験もできますし、地震体験車は各学校の防災訓練等にも出動していますので、是非最寄りの消防署や防災センター（Tel089-911-1881）までご相談ください。</p>	<p>地域防災課 藤本 康信 089-926-9245</p>
13	<p>子どもが外で遊ぶことが少なくなったのは、公園でボール遊びができないということが前提にあるのではないかと思う。</p>	<input checked="" type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> 今年度中 <input type="checkbox"/> 次年度以降 <input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 不可能 <input type="checkbox"/> その他	<p>現在、公園には遊具などを設置しており、野球やサッカーなどを行うには十分な広さがないことや、小さなお子さんや高齢者などの公園利用者への危険性、ボールの飛び出しなどで周辺にお住まいの方にご迷惑をおかけするなどの理由により、原則、ボール遊びは禁止としています。</p>	<p>公園緑地課 管 正人 089-948-6497</p>

			<p>しかし、多くの市民の方から、「ボール遊びができる公園がほしい。」との要望を受け、平成 18 年度から、ボール遊びができる公園の整備に取り組み、現在、11 か所の公園でボール遊びが可能となりました。</p> <p>公園でボール遊びを可能にするためには、公園を管理していただいている「地元公園管理協力会」や町内会、子供会、また周辺にお住まいの方など、地域の皆様のご理解とご協力をいただき、それぞれの公園にあったボール遊びのルールやマナーの徹底、またその周知を含めて皆さんで取り組んでいく必要があります。</p>	
14	<p>老朽化の問題で、公園や市営住宅などのインフラの耐震工事はどれだけ進んでいる状況か教えてほしい。</p>	<input type="checkbox"/> 可 能 <input type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> 今年度中 <input type="checkbox"/> 次年度以降 <input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 不可能 <input checked="" type="checkbox"/> その他	<p>小中学校の施設については、平成 19 年 1 月に「松山市学校施設耐震化推進計画」を策定し、緊急性の高い建物から順次耐震化に取り組んでおり、平成 28 年度中に耐震化が完了する予定です。</p> <p>公民館本館については、耐震診断の結果、全 41 館のうち耐震化を要する 8 館について、順次耐震化を進めており耐震化完了時期は平成 29 年度末の予定です。</p> <p>市営住宅は、50 か所 4,645 戸を維持管理しており、入居者の安全安心を図るために平成 19 年度に耐震化推進計画を策定して、建替えや取壊し予定を除く住宅について計画的に耐震補強工事を進めており、平成 29 年度耐震化完了を目指しています。</p> <p>なお、老朽化が進み、耐震化が困難な市営住宅の建替えや取壊しについては、近隣の住環境や財政面なども含めて検討を進めており、現在は、平成 29 年度に予定している和泉北団地の建替工事に向けて取り組んでいます。</p>	<p>学習施設課 宇都宮 和史 089-948-6831</p> <p>住宅課 中野 正実 089-948-6501</p> <p>地域防災課</p>



			<p>地域の防災拠点となる「消防団ポンプ蔵置所」については、耐震化及び充実強化を図るため全 110 か所のうち、2 階建てで昭和 56 年以前に建設された 22 か所（旧耐震基準）の建替えを、国の財政支援を活用し、平成 29 年度完了を目指して整備を進めています。</p>	<p>藤井 通人 089-926-9229</p>
15	<p>障がいのある人に、偏見を持たれている先生方（小学校や児童クラブ）が多いので、そういう先生たちに指導ができないか。</p>	<p>■可能  <input checked="" type="checkbox"/> 対応済  <input type="checkbox"/> 今年度中  <input type="checkbox"/> 次年度以降  <input type="checkbox"/> 検討中  <input type="checkbox"/> 不可能  <input type="checkbox"/> その他</p>	<p>松山市の児童クラブでは、障がい児等の受入れを積極的に進め、現在約 200 人が在籍しています。</p> <p>現場の支援員に対しては、毎年行っている研修会で、障がい児への対応や理解を学ぶ機会を設け、児童と保護者に寄り添った対応を心がけるよう指導しています。</p> <p>児童クラブへのご意見やお気付きの点がありましたら、子育て支援課までご連絡ください。</p> <p>また、松山市教育委員会では、研修会や各学校の校内研修等で、教職員が障がいのある子どもに対して正しい理解や認識を習得するよう努めており、今後もこうした研修を充実させていきます。</p> <p>学校での対応等については、学校教育課までご相談ください。</p>	<p>子育て支援課 金並 敬之 089-948-6411</p> <p>学校教育課 玉井 泰斗 089-948-6599</p>